

## 2021年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年2月18日

上場会社名 アトラグループ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6029 URL <https://www.artra-group.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長CEO (氏名) 久世 博之  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 田中 雅樹 (TEL) 06-6533-7622  
 定時株主総会開催予定日 2022年3月29日 配当支払開始予定日 —  
 有価証券報告書提出予定日 2022年3月30日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年12月期の連結業績 (2021年1月1日～2021年12月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期	3,158	30.1	△223	—	△224	—	△351	—
2020年12月期	2,426	△14.4	△410	—	△395	—	△440	—

(注) 包括利益 2021年12月期 △362百万円(—%) 2020年12月期 △439百万円(—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年12月期	△36.76	—	△25.0	△4.5	△7.1
2020年12月期	△49.87	—	△27.5	△9.1	△16.9

(参考) 持分法投資損益 2021年12月期 ー百万円 2020年12月期 ー百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期	5,595	1,439	25.7	147.69
2020年12月期	4,342	1,369	31.5	154.00

(参考) 自己資本 2021年12月期 1,439百万円 2020年12月期 1,368百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年12月期	△208	△563	895	1,835
2020年12月期	272	△188	265	1,712

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年12月期	—	0.00	—	3.50	3.50	31	—	1.9
2021年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2022年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

### 3. 2022年12月期の連結業績予想 (2022年1月1日～2022年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,656	98.1	△154	—	△156	—	△180	—	△18.47
通期	5,936	88.0	82	—	78	—	29	—	2.98

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動 : 有  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 2社 (社名)株式会社One Third Residence、株式会社ビーユー  
 除外 1社 (社名)ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年12月期	9,767,000株	2020年12月期	8,889,100株
② 期末自己株式数	2021年12月期	20,266株	2020年12月期	266株
③ 期中平均株式数	2021年12月期	9,552,330株	2020年12月期	8,838,233株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年12月期の個別業績 (2021年1月1日~2021年12月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期	2,052	5.4	△183	—	△164	—	△298	—
2020年12月期	1,946	△18.2	△434	—	△397	—	△579	—
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年12月期	△31.24		—					
2020年12月期	△65.52		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
2021年12月期	4,321	127.34	1,241	127.34	28.7	127.34	127.34	
2020年12月期	4,170	142.64	1,268	142.64	30.4	142.64	142.64	

(参考) 自己資本 2021年12月期 1,241百万円 2020年12月期 1,267百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については添付資料4ページ「1 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(セグメント情報等) .....	13
(1株当たり情報) .....	14
(重要な後発事象) .....	14

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当社グループが属する鍼灸接骨院業界におきましては、柔道整復の療養費が減少傾向にあり、自費施術及び物販の拡大が課題となっております。

このような状況の下、当社グループは、ほねつぎフォーラム2021などの各種セミナーを開催し、ほねつぎチェーンの加盟院の増加、自費施術に使用する機材の販売、アトラ請求サービスの会員の増加、HONEY-STYLEの利用院の増加に取り組みました。

2021年7月に子会社化した株式会社One Third Residenceにおいて、Fitness Mirrorの販売、フィットネスクラブの運営、フランチャイズ展開の開始などに注力しました。これらの新規事業への先行投資から、利益面では費用が超過する状況となっております。

また、これまでの鍼灸接骨院支援事業で蓄積したリアル店舗に対する経営指導のノウハウを活かす新規事業の第1号案件として、2021年12月に株式会社ビーユーを子会社化しました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高が3,158,240千円（前連結会計年度比30.1%増）、営業損失が223,022千円（前連結会計年度は営業損失が410,160千円）、経常損失が224,672千円（前連結会計年度は経常損失が395,835千円）、親会社株主に帰属する当期純損失が351,122千円（前連結会計年度は親会社株主に帰属する当期純損失が440,764千円）となりました。

セグメントごとの経営成績は以下のとおりであります。

なお、当社グループは、前連結会計年度まで「鍼灸接骨院支援事業」の単一セグメントとしておりましたが、2021年12月に株式会社ビーユーを連結子会社化し、同社を「玩具販売事業」に区分したことに伴い、当連結会計年度より「鍼灸接骨院支援事業」及び「玩具販売事業」の2区分に変更しております。そのため、鍼灸接骨院支援事業を除き、前連結会計年度との比較・分析は行っておりません。

#### （鍼灸接骨院支援事業）

当セグメントの売上高は2,832,794千円（前連結会計年度比16.7%増）、営業損失は255,564千円（前連結会計年度は営業損失が410,160千円）となりました。

支援内容別の概要は以下のとおりであります。

#### ・ほねつぎチェーン

既存の鍼灸接骨院の加盟促進に注力したことにより、当連結会計年度末におけるほねつぎチェーンの加盟院は、前連結会計年度末から30院増加し、184院となりました。

この結果、売上高は601,472千円（前連結会計年度比10.2%増）となりました。

#### ・機材、消耗品販売

柔道整復の療養費が減少傾向となる中、自費施術に使用する機材の需要は拡大しております。当社グループは、アトラアカデミーにおいて、動画の充実に取り組み、会員の増加を図っております。また、セミナーの開催をとおり、自費施術に使用する機材の拡販に取り組んでおります。

また、鍼灸接骨院専門ECサイトであるアトラストアでは、あしたの私をつくるケアカタログ「トトリエ」を発行し取扱商品の拡充を図りました。

この結果、売上高は877,276千円（前連結会計年度比0.4%減）となりました。

#### ・アトラ請求サービス

当連結会計年度末における会員は、前連結会計年度末から38会員減少し、2,863会員となりました。また、前連結会計年度に実施したサーバー利用料の料金改定の影響等で増収となりました。A-COMSファイナンスサービス（療養費早期現金化サービス）利用会員への貸付残高は前連結会計年度末から17,504千円増加し、490,742千円となりました。

この結果、売上高は556,626千円（前連結会計年度比5.8%増）となりました。

#### ・HONEY-STYLE

鍼灸接骨院のロコミ／予約システムであるHONEY-STYLEは、前連結会計年度において、一部の機能を無料で開放しました。これにより、当連結会計年度末における利用院は前連結会計年度末から653院増加し、1,374院と

なりました。引き続き、有料プランのサービス強化を図り、無料プラン利用院から有料プラン利用院への移行を促進するべく取り組んでおりますが、有料プラン利用院が減少したことにより、減収となりました。なお、鍼灸接骨院の患者である会員は前連結会計年度末から16,119名増加し、440,014名となっております。

アトラアカデミーの会員は、前連結会計年度末から2,858会員増加し、18,368会員となりました。

この結果、売上高は128,954千円（前連結会計年度比19.1%減）となりました。

・介護支援

ほねつぎデイサービスの加盟店開発、既存加盟店のロイヤリティ収入の拡大及び直営店の売上拡大等に努めました。これにより、当連結会計年度末における加盟店は前連結会計年度末から2店舗増加し、23店となりました。なお、第1四半期連結会計期間に、株式会社ハッピーライフを子会社化しました。

この結果、売上高は365,055千円となりました。

・フィットネス関連

第3四半期連結会計期間より、株式会社One Third Residenceを子会社化しました。

この結果、売上高は131,383千円となりました。

・その他

売上高は172,026千円となりました。

(玩具販売事業)

2021年12月に株式会社ビューユーを子会社化しました。

この結果、当セグメントの売上高は325,446千円、営業利益は32,542千円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,252,960千円増加し、5,595,364千円となりました。これは主に、ソフトウェアが70,352千円及び投資有価証券が123,717千円減少したものの、現金及び預金が123,103千円、売掛金が284,593千円、商品が345,348千円及びのれんが224,564千円増加したことによるものであります。

(負債)

当連結会計年度末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,183,418千円増加し、4,155,911千円となりました。これは主に、短期借入金が500,000千円減少したものの、買掛金が302,354千円、1年内返済予定の長期借入金が238,245千円及び長期借入金が950,701千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ69,541千円増加し、1,439,452千円となりました。

これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失を351,122千円計上し、剰余金の配当が31,110千円あったものの、資本金が157,044千円及び資本剰余金が307,044千円増加したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ123,103千円増加し、1,835,494千円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な内訳は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、208,565千円の支出（前連結会計年度は272,183千円の収入）となりました。主な内訳は、資金の増加要因として、減価償却費の計上131,349千円、減損損失の計上51,950千円、投資有価証券評価損の計上95,985千円、仕入債務の増加額182,373千円、資金の減少要因として、税金等調整前当期純損失の計上331,253千円、売上債権の増加額180,290千円、預り金の減少額80,408千円、収納代行預り金の減少額65,333千円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、563,837千円の支出（前連結会計年度比199.2%増）となりました。主な内訳は、資金の増加要因として、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入38,424千円、資金の減少要因として、貸付けによる支出399,100千円、定期預金の純増加額100,000千円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出105,214千円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、895,505千円の収入（前連結会計年度比237.1%増）となりました。主な内訳は、資金の増加要因として、長期借入れによる収入1,260,000千円、株式の発行による収入293,980千円、非支配株主からの払込みによる収入141,932千円、資金の減少要因として、短期借入金の純減少額514,100千円、長期借入金の返済による支出252,144千円であります。

(4) 今後の見通し

2022年12月期につきましては、引き続き、療養費が減少傾向にある中、自費施術及び物販の拡大が接骨院業界共通の課題になると想定されます。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大対策も重要な要素になると想定されます。

このような環境の下、当社グループは、自費施術を拡大することで、過度に療養費に依存しない接骨院の体制構築に貢献してまいります。具体的には、新型コロナウイルス感染症の感染対策を施しつつ、セミナーを開催し、当社グループのノウハウを提供してまいります。

ほねつぎチェーンは、2021年12月期に加盟院が180院を突破しましたが、2022年12月期も引き続き、自費施術の拡大をテーマに加盟院の増加に取り組んでまいります。

機材販売は、増加しているアトラアカデミーの会員向けに自費施術に関するセミナーを開催し、新規顧客の獲得に注力してまいります。

アトラ請求サービスは、療養費請求に使用するシステムA-COMSの有効活用を提案し、会員の増加に繋げてまいります。

HONEY-STYLEは、無料プラン利用院の増加に取り組み、有料プラン利用院の増加に繋げてまいります。

アトラストアは、セルフケアカタログ「トリエ」の浸透を図り、物販の拡大に努めてまいります。

ほねつぎデイサービスは、柔道整復師が勤務する当社独自のノウハウを武器に、加盟店の増加に努めてまいります。

新規事業として、Fitness Mirrorの販売、接骨院、介護事業とのシナジーの創出を進め、売上、利益の拡大に取り組んでまいります。

また、当連結会計年度に子会社化した株式会社ビーユーでの玩具販売事業においても、リアル店舗に対する経営指導のノウハウを活かし、売上の拡大に努めてまいります。

これらのことから、2022年12月期の売上高は5,936,000千円（前連結会計年度比88.0%増）、営業利益は82,000千円（前連結会計年度は営業損失が223,022千円）、経常利益は78,000千円（前連結会計年度は経常損失が224,672千円）、親会社株主に帰属する当期純利益は29,000千円（前連結会計年度は親会社株主に帰属する当期純損失が351,122千円）を予想しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、日本基準による連結決算を実施しており、連結財務諸表の期間比較可能性を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当連結会計年度 (2021年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,712,391	1,835,494
売掛金	243,583	528,177
営業貸付金	473,238	490,742
商品	394,974	740,323
仕掛品	1,851	3,791
その他	61,726	208,725
貸倒引当金	△3,740	△3,967
流動資産合計	2,884,026	3,803,287
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	82,743	62,536
工具、器具及び備品(純額)	37,268	31,928
土地	27,152	27,152
リース資産(純額)	8,680	5,804
その他(純額)	703	0
有形固定資産合計	156,548	127,421
無形固定資産		
のれん	—	224,564
ソフトウェア	319,447	249,095
その他	13,310	9,460
無形固定資産合計	332,757	483,120
投資その他の資産		
投資有価証券	884,775	761,058
長期貸付金	30,286	29,392
繰延税金資産	10,917	6,019
その他	114,170	449,503
貸倒引当金	△71,077	△64,436
投資その他の資産合計	969,072	1,181,536
固定資産合計	1,458,378	1,792,077
資産合計	4,342,404	5,595,364
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	50,593	352,947
短期借入金	800,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	169,444	407,689
未払金	125,523	187,438
未払法人税等	25,527	24,093
賞与引当金	23,820	24,780
ポイント引当金	16,762	15,569
収納代行預り金	643,083	577,718
預り金	128,196	57,771
その他	109,527	206,332
流動負債合計	2,092,478	2,154,339
固定負債		
長期借入金	776,376	1,727,077
繰延税金負債	11,801	11,405
退職給付に係る負債	35,544	92,484
資産除去債務	49,945	167,395
その他	6,347	3,209
固定負債合計	880,014	2,001,571
負債合計	2,972,493	4,155,911

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当連結会計年度 (2021年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	565,143	722,187
資本剰余金	591,459	898,503
利益剰余金	203,371	△178,861
自己株式	△159	△159
株主資本合計	1,359,814	1,441,669
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,096	△2,216
その他の包括利益累計額合計	9,096	△2,216
新株予約権	1,000	—
純資産合計	1,369,911	1,439,452
負債純資産合計	4,342,404	5,595,364



## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
売上高	2,426,748	3,158,240
売上原価	1,928,289	2,281,994
売上総利益	498,458	876,245
販売費及び一般管理費	908,619	1,099,267
営業損失(△)	△410,160	△223,022
営業外収益		
受取利息	123	100
受取手数料	8,261	9,270
助成金収入	2,471	12,897
保険解約返戻金	—	5,852
解約料収入	2,490	—
投資事業組合運用益	9,369	—
その他	2,175	5,883
営業外収益合計	24,891	34,003
営業外費用		
支払利息	6,656	10,948
リース解約損	2,113	—
支払手数料	—	8,150
投資事業組合運用損	—	964
株式交付費	—	14,054
その他	1,796	1,535
営業外費用合計	10,566	35,653
経常損失(△)	△395,835	△224,672
特別利益		
固定資産売却益	5,512	710
投資有価証券売却益	76,114	30,120
関係会社株式売却益	—	14,139
新株予約権戻入益	—	1,000
負ののれん発生益	—	1,023
受取和解金	—	10,000
特別利益合計	81,626	56,993
特別損失		
減損損失	93,970	51,950
固定資産除却損	2,332	638
固定資産売却損	0	—
投資有価証券評価損	—	95,985
支払和解金	—	15,000
特別損失合計	96,302	163,575
税金等調整前当期純損失(△)	△410,512	△331,253
法人税、住民税及び事業税	26,528	16,589
法人税等調整額	3,723	3,279
法人税等合計	30,251	19,868
当期純損失(△)	△440,764	△351,122
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△440,764	△351,122

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
当期純損失(△)	△440,764	△351,122
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,010	△11,313
その他の包括利益合計	1,010	△11,313
包括利益	△439,753	△362,435
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△439,753	△362,435

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	563,757	590,073	674,900	△159	1,828,571
当期変動額					
新株の発行 (新株予約権の行使)	1,386	1,386			2,772
剰余金の配当			△30,764		△30,764
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△440,764		△440,764
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	1,386	1,386	△471,528	—	△468,756
当期末残高	565,143	591,459	203,371	△159	1,359,814

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	8,086	8,086	1,000	1,837,657
当期変動額				
新株の発行 (新株予約権の行使)				2,772
剰余金の配当				△30,764
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)				△440,764
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	1,010	1,010	—	1,010
当期変動額合計	1,010	1,010	—	△467,746
当期末残高	9,096	9,096	1,000	1,369,911

当連結会計年度(自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	565,143	591,459	203,371	△159	1,359,814
当期変動額					
新株の発行	157,044	157,044			314,088
剰余金の配当			△31,110		△31,110
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△351,122		△351,122
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動		150,000			150,000
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	157,044	307,044	△382,233	—	81,854
当期末残高	722,187	898,503	△178,861	△159	1,441,669

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	9,096	9,096	1,000	1,369,911
当期変動額				
新株の発行				314,088
剰余金の配当				△31,110
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)				△351,122
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動				150,000
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	△11,313	△11,313	△1,000	△12,313
当期変動額合計	△11,313	△11,313	△1,000	69,541
当期末残高	△2,216	△2,216	—	1,439,452

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純損失 (△)	△410,512	△331,253
減価償却費	177,159	131,349
減損損失	93,970	51,950
のれん償却額	—	25,408
負ののれん発生益	—	△1,023
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	12,865	227
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,400	1,286
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	2,547	11,208
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△12	△1,192
固定資産除却損	2,332	638
固定資産売却損	0	—
固定資産売却益	△5,512	△710
投資有価証券評価損	—	95,985
投資有価証券売却益	△76,114	△30,120
関係会社株式売却損益 (△は益)	—	△14,139
受取利息	△123	△100
支払利息	6,656	10,948
株式交付費	—	14,054
売上債権の増減額 (△は増加)	31,951	△180,290
営業貸付金の増減額 (△は増加)	189,073	△17,504
たな卸資産の増減額 (△は増加)	88,045	34,986
仕入債務の増減額 (△は減少)	△13,794	182,373
未払金の増減額 (△は減少)	40,354	23,714
預り金の増減額 (△は減少)	88,459	△80,408
収納代行預り金の増減額 (△は減少)	23,051	△65,333
その他	65,432	△36,818
小計	318,231	△174,763
利息の受取額	122	1,318
利息の支払額	△6,817	△11,117
法人税等の支払額	△42,412	△24,003
過年度法人税等の支払額	△11,038	—
法人税等の還付額	14,096	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	272,183	△208,565
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△17,774	△34,130
有形固定資産の売却による収入	7,029	1,380
無形固定資産の取得による支出	△209,462	△22,070
投資有価証券の取得による支出	△80,000	—
投資有価証券の売却による収入	76,114	30,150
貸付けによる支出	△1,000	△399,100
定期預金の増減額 (△は増加)	—	△100,000
投資事業組合からの分配による収入	33,211	13,800
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△105,214
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	38,424
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	11,985
その他	3,442	939
投資活動によるキャッシュ・フロー	△188,438	△563,837

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△350,000	△514,100
長期借入れによる収入	805,200	1,260,000
長期借入金の返済による支出	△159,170	△252,144
株式の発行による収入	—	293,980
新株予約権の行使による株式の発行による収入	2,772	—
配当金の支払額	△30,738	△31,025
非支配株主からの払込みによる収入	—	141,932
その他	△2,392	△3,137
財務活動によるキャッシュ・フロー	265,671	895,505
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	349,415	123,103
現金及び現金同等物の期首残高	1,362,975	1,712,391
現金及び現金同等物の期末残高	1,712,391	1,835,494

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

## 1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、「鍼灸接骨院支援事業」、「玩具販売事業」の2つを報告セグメントとしております。「鍼灸接骨院支援事業」は、ほねつぎチェーン、機材・消耗品販売、アトラ請求サービス、HONEY-STYLE、介護支援、フィットネス関連などの鍼灸接骨院支援に関する事業を行っております。「玩具販売事業」は玩具・文具等の販売に関する事業を行っております。

当社グループは、前連結会計年度まで「鍼灸接骨院支援事業」の単一セグメントとしておりましたが、2021年12月に株式会社ビーユーを連結子会社化し、同社を「玩具販売事業」に区分したことに伴い、当連結会計年度より「鍼灸接骨院支援事業」及び「玩具販売事業」の2区分に変更しております。

なお、前連結会計年度のセグメント情報を当連結会計年度の報告セグメントの区分方法により作成した情報については、「玩具販売事業」が当連結会計年度より開始されたことから、開示を行っておりません。

## 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

## 3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

当社グループは単一セグメントであるため記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	鍼灸接骨院 支援事業	玩具販売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,832,794	325,446	3,158,240	—	3,158,240
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,832,794	325,446	3,158,240	—	3,158,240
セグメント利益又は損失(△)	△255,564	32,542	△223,022	—	△223,022
セグメント資産	2,943,757	1,108,634	4,052,391	1,542,973	5,595,364
その他の項目					
減価償却費	131,349	—	131,349	—	131,349
のれんの償却額	25,408	—	25,408	—	25,408
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	56,201	—	56,201	—	56,201

(注) 1 セグメント資産の調整額1,542,973千円には、各報告セグメントに配分していない全社資産が含まれております。全社資産は、主に親会社の余剰運用資金(現金及び預金)及び長期投資資金(投資有価証券等)であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業損失(△)と一致しております。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
1株当たり純資産額	154.00円	147.69円
1株当たり当期純損失(△)	△49.87円	△36.76円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	－円	－円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
1株当たり当期純損失(△)		
親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△440,764	△351,122
普通株主に帰属しない金額(千円)	－	－
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純損失(△)(千円)	△440,764	△351,122
普通株式の期中平均株式数(株)	8,838,233	9,552,330
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	－	－

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。